

『約束された救い主』 マタイの福音書1章16～23節 2018.12.2 アドベント第一主日礼拝説教より

『…主みずから、あなたがたに一つのししを与えられる。見よ。処女がみごもっている。そして男の子を産み、その名を『インマヌエル』と名づける。』 イザヤ書7:14

待降節の4週間、「希望」「平和」「喜び」「愛」の4つのテーマで神の救いの恵みを確認する。まず希望！本当の希望は、死者の中から甦られ、今も生きて働かれるイエス様にある（Ⅰコリント 15:19-20）！

①**約束し、必ず守られる神(21-22 節)**…天使が告げたのは3つ。結婚前の女性が男の子を産み、「イエス(神は救い)」と呼ばれ、人々を罪から救う！この救い主誕生の約束は、700 年以上前にイザヤが預言(イザヤ 7:14)！聖書は、歴史的事実であることを証するため、いつどこで、誰が誰に語ったかを明記！ここにアブラハム以降の系図もある。神は「地上のすべての民族は、あなた(アブラハム)によって祝福される(創世記 12:3)」と約束し、約二千年後、キリスト誕生で実現！あれから 2018 年…「すべての民」の中に、あなたがいる。この聖書は単なる宗教の經典でも歴史書でもなく、人類の歴史を支配して導く生ける神の言葉！

②**私たちへ約束**…本当の希望は、約束とその実現にある！◆神から私たちへの約束は、第一に「その名はイエス」！この4週間、朝に夕に口にしたい。「神が言われた！あの 2018 年前に生まれた幼子の名はイエス(神は救い)」だと。その名を信じ、罪の闇から救われた人々は、希望の道を歩む。途中、挫折して心折れても、この約束は必ず実現する。「最後に笑う者が最も良く笑う」。その名はイエス！◆第二の約束は、「その名はインマヌエル(神は、私たちとともにおられる)」。イエス様の美しい別名！あなたが、どこにいて、どうであれ、生まれてからずっと、召される日も神は共におられ、特に辛く苦しい時にこそ共に！その御愛に気づくかどうかに関係なく、である。これが、クリスマスの希望のメッセージ！だから「この神を信じていれば大丈夫。何も心配はない」という信仰に、今朝、気づいて欲しい！そして今度、不安や恐れを感じた時、「私は一人じゃない！天地を創られた神が共に」と思い出したい！そう信じた瞬間、あらゆる恐れと悩みは吹き飛ばす！ここで最大の注目は、神が「私たちと共に」おられること。私たちは、つい「私の喜び、私の幸せ…」を考えるが、これを「私たちの喜び／私たちの幸せ…」は何？考える時、世界が変わる(マタイ 28:20)！

★本当の神様は、約束(預言)して実現される！創り主に背を向ける人生から、向きを変えて闇を消していただき、希望の光の中を歩もう！